

ドクター板東の メディカルリサーチ

～南国で 北のスポーツ 盛り上げて～



Vol. 63

<http://hb8.seikyou.ne.jp/home/pianomed/>

ウインタースポーツと言えば、スキー・スケートが挙げられる。遊びではなく、競技者として日々精進している人達も少なくない。冬の競技といつても、1年間ずっとトレーニングを継続している。

先日、冬季国体に出場する選手団の結団式が行われた。郷里の代表として、スキーキーの十川選手が県勢最高タイ18位に入った！ おめでとう。素晴らしい。

各競技や組織のマネジメントを担当しているのが、徳島県体育協会である。今回はこれらの話題について、御紹介したい。

徳島県の動き

徳島県体育協会は従来、県内スポーツの普及や振興を進めてきた。最近のニュースをお伝えしよう。

理事の中原祐一氏は多

年にわたり理事・専務理事・副会長、競技力向上委員長をはじめ、徳島県スケート連盟会長としても、県

スポーツの発展に大きく貢献してきた。本功績が認め

◇平成22年度徳島県表彰受賞者（教育・文化）

（財）徳島県体育協会
理事 中原 祐一 氏



図1

では、全国と同様に予算不足などが挙げられよう。
結団式では、県体協会長の飯泉知事から励ましのスピーチがあった（図2）。南国というハンディキャップに負けず、チャレンジし頑張ってほしいと。

選手団を代表して、スキーの杉本直美選手が決意の言葉を宣誓（図3）。徳島県体育協会の会長も兼任している知事は、スポーツに理解があり、詳細なデータをいつも暗記している。今後とも、徳島県のスポーツ界の益々の展開をお願いしたいと思う。



図2

スキーで快挙

今年の冬季国体で、スケートは1月下旬に青森県の八戸市と三沢市で、スキーリーは、2月中旬に秋田県鹿角市で開催された。

まず、大きなニュースを紹介したい（図4）。スキーアルペン女子A大回転で十川小緒里選手が県勢最高タイ18位に入った。

昨年の27位から躍進し、最大傾斜が30度もある難易度の高いコースに「腰が



図3

